

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【基本情報】

基本目標	05うるおいのあるまち
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02環境美化の推進
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	保健衛生の推進を図っているが、ごみ減量化や保健衛生のさらなる推進に向けた取り組みが必要となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健全な生活と保健衛生の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び加古川市保健衛生協議会の役員・保健衛生推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	保健衛生の推進を図るため、加古川市保健衛生協議会に対して運営補助金を交付することにより、当協議会の運営を支援する。また、スズメバチ駆除費に対する補助を行う。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		2,156 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,156 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	010 環境衛生事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	2,151 千円	2,110 千円	2,156 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>ごみ分別の徹底、ごみ減量の推進、ごみ集積場の環境衛生保持などの観点から、保健衛生協議会への補助は、今後も継続して行う必要があると考える。また、毎年スズメバチによる巣作りは多くみられ、市民ニーズが高いことから、駆除に要する費用補助を増額して実施する必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支部	地区	25	25	25
世帯数	世帯	106,451	107,637	108,688

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
保健衛生推進委員研修会開催回数	回	25	25	25
スズメバチ補助件数	件	79	84	87
活動指標分析結果	広域ごみ処理施設への移行が開始され、ごみ減量への取組を引き続き進める必要があり、推進委員や地区支部での研修会等を開催した。また、市民の生活環境の安全を確保することから、スズメバチの巣の駆除に対して補助を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
地区別研修会参加者数	人	539	330	305		560
全市研修会参加者数	人	350	0	0		410
スズメバチ駆除、被害数	件	79	84	87		0
成果指標分析結果	コロナ禍による研修会等の自粛があったことで実績への影響があるが、今年度以降で計画数に近づけるよう創意工夫をしていく。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	飼い主のいない猫不妊・去勢手術支援事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【基本情報】

基本目標	05うるおいのあるまち
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02環境美化の推進
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	地域からの飼い主のいない猫による、ふん尿被害や餌やり等の苦情があり、これ以上飼い主のいない猫の個体数を増やさない対策が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	飼い主のいない猫の繁殖を抑制して個体数を減少させ、猫のふん尿による被害等の削減を図り、良好な生活環境を確保する。
対象 ※誰、何に対して	市内に生息する飼い主のいない猫を捕獲して、マイクロチップを装着した上で原則室内での終生飼養をしようとされている市民が対象。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	飼い主のいない猫にマイクロチップを装着し、不妊・去勢手術を市が指定する動物病院で実施しようとする市民に、メス10,000円、オス5,000円の手術費を助成する事業。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	819千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	819千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	015 飼い主のいない猫不妊・去勢手術支援事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	819千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	飼い主のいない猫に対して、不妊・去勢手術を実施して終生飼養をしてもらうことが促進されれば、個体数の減少に一定の効果があると考えられる。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	飼い主のいない猫不妊・去勢手術支援事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
世帯数	世帯	0	0	20

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
動物病院	箇所	0	0	7
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
手術実施飼い主のいない猫数	匹	0	0	31		0
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	屋外分煙施設管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	05 うるおいのあるまち
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 環境美化の推進
事業実施期間	令和3年度 ～ 令和3年度
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市空き缶等の散乱及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例

【事業概要】

現状と課題	屋外分煙施設を移転設置したが、喫煙者を新たな屋外分煙施設へ誘導するため今後も周知が必要。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	JR加古川駅南口からベルデモールにかけての動線付近にある喫煙所を移転し、喫煙者を排除することなく、駅周辺の環境美化及び受動喫煙防止を図る。
対象 ※誰、何に対して	喫煙者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	JR加古川駅南広場に従来から設置している屋外分煙施設を撤去し、新たな屋外分煙施設を移転設置する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	1,133 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,133 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	010 環境美化推進事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	0 千円	1,133 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	屋外分煙施設管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口（10/1付推計人口）	人	262,308	261,041	259,603

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口（10/1付推計人口）	人	262,308	261,041	259,603
活動指標分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
不法投棄確認回数	回	0	63	27		0
成果指標分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	環境美化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	05 うるおいのあるまち
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 環境美化の推進
事業実施期間	平成16年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	地域での一斉清掃については、多数の地域団体が行っている。また、アダプトプログラムについては、登録団体は増加傾向にあるが、参加者の高齢化を理由に活動を休止する団体がある。新規参加者を取り込むなど団体の活動を活性化することが課題。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の環境美化への意識向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民・町内会・市内企業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	アダプトプログラム登録制度を実施し、活動団体を支援する。地域の清掃活動に対して支援を行い、美化活動推進の啓発を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	277千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	277千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	010 環境美化推進事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	254千円	261千円	277千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	町内会等の地域団体、市民ボランティア団体への支援により、地域コミュニティの活性化を図りながら美化活動への意識向上に貢献していると考えられる。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	環境美化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
単位町内会・自治会	町内会・自治会	321	320	320
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	262,647	261,324	259,986

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内会一斉清掃実施団体	団体	281	230	237
アダプトプログラム登録団体数	団体	33	38	44
活動指標分析結果	町内会一斉清掃実施団体に対しては、清掃活動への支援としてごみ袋の支給、ごみ袋の貸出しを行っている。アダプトプログラムについては辞退団体数が減少し、普及啓発により参加団体数が増加傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
町内会一斉清掃回数	回	657	530	518	令和5年度	650
アダプトプログラム登録団体数	団体	33	38	44	令和5年度	50
成果指標分析結果	地域美化のPR等により、地域の美化意識の高揚に繋がり一斉清掃の実施回数が安定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため活動自粛により実施団体、実施回数とも前年度と比較してほぼ横ばい状態が続いている。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	05うるおいのあるまち
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02環境美化の推進
事業実施期間	昭和42年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及によりし尿収集登録世帯数は減少傾向にあるが、対象世帯の地域的縮小は進まず直営・委託とも収集効率が低下している。令和3年4月1日現在くみ取り登録件数5,150件のうち、委託3,103件、直営2,047件である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正（定例的・効率的）に収集・運搬することで、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	し尿収集運搬業務委託区域において、し尿汲み取り便槽に貯留したし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿収集登録世帯のうち、し尿収集運搬業務委託区域におけるし尿収集・運搬を適正に実施する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	74,113千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	74,113千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	005 し尿収集管理事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	83,426千円	79,154千円	74,113千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置が進むなか、し尿汲取り量は、直営、委託とも年々減少している。令和3年度実績は14,278KLで、うち委託分は9,370KLであった。2年度の委託分は9,936KLで、対前年度比5.7パーセント減少した。市全体として、汲取り便所から下水道や浄化槽への転換が進み、本市の水環境は向上している。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
し尿収集登録世帯数	世帯	5,506	5,302	5,150
委託によるし尿収集世帯数	世帯	3,215	3,147	3,103

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
し尿収集運搬業務委託業者数	社	7	7	7
活動指標分析結果	平成27年10月から7業者に委託している。し尿汲取りは、便槽の数、容量、設置場所や狭路での進入路等、熟知しなければならぬ事項が多く、各業者に収集地区を割り振っている。内訳は、志方地区4者、旧加古川市地区3者である。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
委託によるし尿収集量	KL	10,498	9,936	9,370	令和4年度	9,207
委託によるし尿収集件数	件	21,069	20,241	19,380	令和4年度	19,043
成果指標分析結果	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及により、し尿収集量、件数は直営、委託とも減少傾向にある。業者には、一般家庭のほか仮設トイレのし尿収集を委託しており、工事やイベント等のために一時的に設置するトイレの汲取りにも対応している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	05うるおいのあるまち
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02環境美化の推進
事業実施期間	平成25年度～令和7年度
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市浄化槽設置整備事業補助金等交付要綱

【事業概要】

現状と課題	現行の補助制度が施行されて7年が経過しているため、目的である生活排水による公共水域の汚濁を防止し、早期に生活環境及び公衆衛生の向上に寄与することにどの程度寄与しているかの的確に分析する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進し、生活環境の改善と公共水域の水質保全を推進する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市生活排水処理計画での公共下水道、農業集落排水処理施設で排水処理することとされている区域以外の区域で、都市計画法に規定する工業専用地域以外の区域において、10人槽以下の浄化槽を設置しようとする者及び適正な維持管理を行った者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	設置する合併処理浄化槽の人槽に応じて5人槽77万円～10人槽125万円の補助金を、合併処理浄化槽設置にあたり単独処理浄化槽の撤去費補助6万円を、汲取りから合併処理浄化槽への改造工事は5万円、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への改造工事は2万5千円の助成金を交付する。その他、高度処理型浄化槽の設置の場合は上乗せ補助を設けている。また、維持管理費補助は2万円を交付する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	152,837千円	
財源内訳	国庫支出金	11,691千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	141,146千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	015 合併浄化槽設置補助事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	148,579千円	171,115千円	152,837千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公共下水道整備区域の見直しにより、平成27年度に設置補助事業の拡充と維持管理費補助事業の創設を行った。今後は補助事業の適正な執行のほか、広報、ホームページ、チラシ配布及び説明会等による市民や設置業者への積極的なPRも図り、法定検査受検率の向上にも努める必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公共下水道・農業集落排水処理施設対象区域外人口	人	12,506	12,482	12,362

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合併処理浄化槽設置補助申請件数	件	137	160	138
合併処理浄化槽維持管理費補助申請件数	件	1,159	1,263	1,344
活動指標分析結果	広報等のPRにより、補助金制度の周知は図られているが、更に令和3年12月より、浄化槽区域内の汲取り世帯へ、し尿処理手数料の納付告知の際に、QRコードで市のホームページ（補助制度）を閲覧できる案内を送付している。令和4年度には、同区域内の単独浄化槽世帯へ、補助制度の案内を送付し、転換を促す予定である。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
合併処理浄化槽設置補助交付件数（H25～R9累計）	件	1,016	1,176	1,314	令和6年度	1,794
生活排水処理率	%	95.1	95.4	95.8	令和6年度	99.4
法定検査受検率	%	75.8	75.7	76.4	令和6年度	79.6
成果指標分析結果	浄化槽処理区域内の設置状況は、平成25年から8年間で1,176基を設置済みである。また、生活排水処理率の令和2年度実績は95.4%で、今後も処理率は伸びていくと考える。法定検査受検率も向上している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	05 うるおいのあるまち
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 環境美化の推進
事業実施期間	昭和34年度 ~ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	令和4年度より1班減少し、直営収集地域において5班体制で、常時5台稼働している。ほかに予備車として、狭路用の2トン車、故障時対応用の3トン車各1台を保有している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正(計画的・効率的)に収集・運搬することで、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	直営区域において、し尿くみ取り便槽に貯留されたし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿収集登録世帯のうち、直営区域におけるし尿収集・運搬を適正に実施するために必要な車両を更新する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	7,637千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	5,700千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,937千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	020 し尿収集車両購入事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	7,618千円	7,386千円	7,637千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>今後も、効率的な直営し尿収集運搬体制を維持するため、年次的な更新計画に基づき、事業を継続していく。</p>

事務事業名	し尿収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
し尿収集登録世帯数	世帯	5,506	5,302	5,150
直営担当し尿収集世帯数	世帯	2,291	2,155	2,047

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
し尿収集車両保有台数	台	9	8	8
活動指標分析結果	公共下水道や合併処理浄化槽の普及に伴い、直営担当し尿収集世帯数は減少しているが、地域的観点からは密度が薄くなっており、面積的には狭まっていない。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
直営によるし尿収集量	KL	5,711	5,518	4,909	令和4年度	4,770
直営によるし尿収集件数	件	14,933	13,818	12,805	令和4年度	12,442
成果指標分析結果	公共下水道や合併処理浄化槽の普及に伴い、し尿収集量、件数は減少傾向にある。ただし、収集区域の面積は変わっていないので、車両1台あたりの走行距離はさほど減少していない。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	し尿終末処理施設整備事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	05うるおいのあるまち
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02環境美化の推進
事業実施期間	令和2年度～令和6年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	尾上処理工場（し尿処理施設）は、稼働開始から50年以上経過し、施設の老朽化が著しく、早急に合理的かつ経済的な施設整備を実施する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公共下水道の整備に長期を要する区域について、合併処理浄化槽の区域に変更されたことにより、永続的に必要となったし尿処理施設の安定稼働を図る。
対象 ※誰、何に対して	尾上処理工場（し尿処理施設）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成30年度に策定した施設整備計画に基づき、既存施設の運転を継続しながら施設更新を実施する。令和2年度に生活環境影響調査を行い、令和3年度に整備運営事業者を選定し、令和4年度から令和6年度で施設更新を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	2,315千円	
財源内訳	国庫支出金	733千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,582千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	07 し尿処理施設費
細目	015 し尿終末処理施設整備事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0千円	11,704千円	2,315千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	現在の施設は老朽化が進んでおり、安定稼働のためには施設更新が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設整備事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
尾上処理工場施設整備費	千円	0	11,704	2,315
活動指標分析結果	令和4年度から令和6年度に施設整備工事を行うため、施設整備費の増加が見込まれる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
し尿・浄化槽汚泥量	k l	34,784	34,807	33,777	令和4年度	38,418
成果指標分析結果	し尿・浄化槽汚泥量は減少傾向にあるが、合併処理浄化槽区域における浄化槽設置基数の増加により、浄化槽汚泥量の増加が予測される。					